

JB新聞

4月28日(水)
2021年(令和3年)
発行所:横浜市瀬谷区阿久和南4-12-6

Cafe Jack in the Box
☎ 045-442-5557
じゃんぼ洗車センター
☎ 045-812-6400
RAVEN株式会社
☎ 045-443-7355

復活!? カフェなのになにに定食!?

お食事処でもなければファミレスでもない。カフェなのになぜ定食があるのか。カフェ定食の始まりはCafeloran時代に遡る。

若いライダーが夜な夜な集まるライダーズカフェ。ジャンクフードばかり食べている田舎から出てきた若者や、仕事が不規則で夕飯はもっぱらコンビニで済ませている子

そんな若者たちの食生活が心配でならなかった店長(50)が、「週に1度でもちゃんとした食事をしてほしい」そんな

気持ちから始まったのだ。日替わりでお袋の味を提供していた日々から、Cafe Jack in the Boxへの移転を経て、現在は気軽に召し上がっていただける「カフェ丼」へと変化する。しかし未だ定食再開の声は多く、満を持してフライ定食のグラランドメニュー化となった。

広島産大粒の牡蠣がたっぷりのカキフライ定食、アジ・イカ・海老・牡蠣のミックス定食(各1300円) Cafe Jack in the Boxの価格帯からは少しお高めの値段設定だが、味噌汁とご飯、漬物がついて満腹間違いなしのメニューだ。

これからカフェ定食、また違ったメニューが飛び出すかもしれないという店長。期待して待つべし。



今だけ1ヶ月無料洗車キャンペーンを実施中

じゃんぼ洗車センター藤沢六会店に最新型のドライブスルー洗車機が登場!

毎月定額洗い放題会員をWashPassアプリで登録すると、今だけ1ヶ月無料洗車キャンペーンを実施している。

ぜひこの機会にじゃんぼ洗車センター藤沢六会店で愛車を磨いてみてはどうだろうか。詳しくはQRコードからじゃんぼ洗車センターにアクセス。



ラジオ番組「くらしさんの今日もツーリング日和」放送!

(FMやまと毎週土曜20時)

4月24日放送のMotorcycle Friendship バイクの輪ゲストは株式会社ケイファクトリー社長桑原裕志さんをお迎えして放送。チタンマフラー、ステップ、クラッチカバーなど様々なバイク用品の製造販売を手がけるケイファクトリー。桑原社長の素敵な人となりがわかる対談となった。

仮面ライダーに憧れてバイクに興味を持った幼少期からヒーローになったかっと言う桑原社長。16歳で免許を取り、そこからずっとバイクと共に生きてきた人生。今彼は唯一無二のものづくりをする

ことで、ライダーたちのヒーローになれたのではないだろうか。「カスタムは自己満足しかない。他人様の目を気にして

するものではないから、自分が好きな物を選んで好きなようにするのが1番。人様の迷惑にならないようにスピードを出すならサーキットへ、ツーリングへいくなら現地の人の迷惑にならないように。他人様に見せて自慢するくらいなら、ロレックスでも買った方がよっぽど満足できますよ」そう語る桑原社長は、なぜバイクに乗るのかと言う問いかけにこう答えた。「ヒーローになるためと年寄りの思い出(くり)」。桑原社長のヒーロー像にはまだ達していないと言ってしまう。今後のケイファクトリーの展開が楽しみだ。

パンク修理オイル交換

Cafe Jack in the Box 社長の愛してやまないクラウンの左リアタイヤがパンクしてしまつたと報告を受けて、パンク修理をすることになりました!

左リアをジャッキであげてタイヤを外すと、2本も刺さつてました! 幸い1本は短く斜めに刺さつていたので、エアは漏れていませんでしたが、下の長いのは貫通しており、今回は1箇所パンク修理を実施。

まず初めに、シール材を入れる為にリーマーで穴を少し広げて下準備。ニードルにシール材を挟みニードルの根元まで入れて穴を塞ぎます。

シール材が抜けなくなつたら、余裕をもって切り取り、エアを入れて石鹸水を吹きかけ漏れなければ完了です!



「カスタムは自己満足しかない。他人様の目を気にしてするものではないから、自分が好きな物を選んで好きなようにするのが1番。人様の迷惑にならないようにスピードを出すならサーキットへ、ツーリングへいくなら現地の人の迷惑にならないように。他人様に見せて自慢するくらいなら、ロレックスでも買った方がよっぽど満足できますよ」